

平成29年度 第2回区政会議での主な意見

【にぎわい・きずな部会】

○「安全で安心なまちづくり（防災・防犯）」

- ・ 災害時協力企業の拡充について、区役所が今PRしているが、やはり住民と企業との協働ということが大事だということから、地域でも、地域住民のそれぞれの校区内の企業に行って、協力を依頼するということもやらないといけないのではないか。
- ・ 防犯カメラの設置について、財源には限りがあるので、どんどん増やせと言われても増やせるものではない。企業の方でも設置されているので、防犯カメラマップを作成し、それらをもとにして、次の時にはカメラが設置されていないところを重点的に設置していくなど、バランスよく設置するべきではないか。

○「まちの魅力向上」

- ・ ひがしなり企業区民連携フォーラムについて、これを推進していくことで企業と地域の連携、それが地域の方での災害時に協力いただける企業へと結びついていくのではないか。
- ・ まちの魅力づくりについて、区内にあるたくさんの工場見学などを通じて、連携を深めていけばいいのでは。工場運営中の見学は子どもたちが来ると危険があるなど難しいところもあるが、土曜日とか夏休みを利用して、今後地域と企業とで話しながら一番いい見学の方法を考えていけばいいのではないか。

【こども・教育部会】

○「教育環境と子育て支援の充実」

- ・ 良好な教育環境づくりについて、家族の絆というエッセイで、小中学生が、自分の親のことやありがたかったこと、悲しかったことなどを書いて発表している校下がある。こういう発表が区内で増えていけばいいのでは。（また、社会を明るくする運動というのがあるが、そこでは非行防止などの題目で書いていただいたりしている。そのようなことも進めていけばいいのではないか。）

- ・ 良好な教育環境づくりに関わって、学校との連携について、大学や企業に社会貢献をお願いして、授業の終わった後にちょっと教えていただくとか、家庭教師ではないが、協力してくださる人材を募集してはどうか。
- ・ 子育て家庭を支援する環境づくりについて、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブという事業があり、少しずつ浸透しているが、地域福祉活動サポーターの活用や周知用のリーフレットを病院などに置いてもらえれば、もっとお母さん方の目につくのではないか。
- ・ 子育て家庭を支援する環境づくりについて、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブに入会すると1割引などの特典が受けられる協賛店が区内に21軒あるが、この店舗を増やしていくことで、つながるクラブがもっと普及するのではないか。

【保健福祉部会】

○「地域福祉と健康づくりの充実・推進」

- ・ 緊急時安否確認かぎ預かり事業は他人にも鍵を預けることへの抵抗感や預かる側の負担感がある。この事業は、今までの地域とのつながりを持つためには重要な事業であるから、これまでのつながりを補完するものにしてほしい。
- ・ おまもりネット事業について、個別周知や区内イベントなどの周知の際に拒否される方も多い。また、地域によって登録数にもばらつきがあるようである。おまもりネット事業もかぎ預かり事業についても、地域の主体的に取り組んでいくという意識がないと、広く周知、普及できないのではないか。
- ・ 食育を通しての見守り活動という側面もあるので、高齢者の食育も大事なことでないか。
- ・ 特定健診の受診率向上に向けた普及・啓発について、国民健康保険に加入している人の受診率が20%程度と、低い状況にあるということだが、普段から通院している人の中には、わざわざ改めて特定健診を受診しない人も多いと思われる。